



2010年12月6日

関係各位

千代田化工建設株式会社  
IR・広報室

## 電源開発殿向け CO2 分離回収設備を受注

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市 社長:久保田 隆)は、このたび、電源開発株式会社(本社:東京都中央区 北村 雅良社長)より、同社若松研究所(北九州市)にある多目的石炭ガス製造技術開発(EAGLE)の実証試験設備に設置する CO2 分離回収設備の EPC(設計・調達・建設)業務を受注しましたので、お知らせいたします。

1. 契約先 : 電源開発株式会社 (J-POWER)
2. 契約内容 : CO2 分離回収設備\*1 の EPC 業務
3. 契約金額 : 非公表
4. 建設予定地 : 福岡県北九州市若松区柳崎町1番
5. 建設計画 : 2011 年度に現場建設工事開始、2012 年度より実証運転開始

\*1 CO2 分離回収設備:

J-POWER が新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)との共同研究事業として実施する、石炭ガス化プロセスにおける物理吸収法による CO2 分離回収試験(革新的 CO2 回収型石炭ガス化技術開発)に係るプラント設備。処理ガス量:1,000m<sup>3</sup>N/H、CO2 回収率:約 90%[炭素換算]、回収 CO2 純度:98%以上

### 6. 受注の意義

本設備は、次世代(1500°C 超級ガスタービン)IGCC\*2 を想定した高圧プロセス向けに、石炭ガス化では国内初となる物理吸収法を用いて CO2 を分離回収する設備です。当社では今回の受注を機に、石炭利用の効率最大化を迫るクリーンコールテクノロジーおよび CO2 の分離・回収・貯留(CCS)に関わる技術をさらに研鑽し、「カーボンライフサイクルエンジニアリング」の観点から低炭素社会に貢献すべく、石炭のガス化から発電、製品製造、CCS までの一貫したシステムを構築して参ります。

\*2 IGCC(Integrated coal Gasification Combined Cycle):

石炭ガス化複合発電。石炭をガス化し、コンバインドサイクル発電と組み合わせることにより、従来の石炭火力と比べて更なる高効率化を目指した発電システムです。

以上

---

この件に関するお問合せ先: IR・広報室 伊藤 健 / 高橋 昌子

URL : <https://ssl.chiyoda-corp.com/contact/index.php>